

がん診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、  
臨床検査技師及びがん登録実務者の研修実施要領

(平成18年度)

厚生労働省医政局

平成18年度がん診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、  
臨床検査技師及びがん登録実務者の研修実施要領

1. 目的

わが国のがん対策の一環として、がん診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師及びがん登録実務者に対し、高度の専門的知識及び技術を修得させ、専門職員の充実を図ることを目的とする。

2. 対象者

(1) 医師

がん診療に従事する者で、医師の資格取得後2年以上の実務経験を有し、受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(2) 看護師

がん診療に従事する者で、看護師の資格取得後5年以上の実務経験を有し、受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(3) 診療放射線技師

がん診療に従事する者で、診療放射線技師の資格取得後2年以上の実務経験を有し、受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(4) 臨床検査技師

がん診療に従事する者で、臨床検査技師の資格を有し、受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(5) がん登録実務者

院内がん登録及び地域がん登録の実務に従事する者で、受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

### 3. 研修定員

職種別研修定員は、次のとおりである。(但し、研修実施施設長が推薦する者を除く)

職 種	期 間	実施回数	1回あたりの定員	定員総数
医 師	3ヵ月	2回	24人	48人
看 護 師	3週間	1回	35人	35人
診療放射線技師	1ヵ月	1回	9人	9人
	2週間	1回	15人	15人
		2回	24人	24人
臨床検査技師	3ヵ月	2回	3人	6人
がん登録実務者	1週間	2回	20人	40人
合 計				153人

### 4. 研修実施施設

国立がんセンター（中央） 東京都中央区築地5の1の1 電話 [03] (3542)2511

国立がんセンター（東） 千葉県柏市柏の葉6の5の1 電話 [04] (7133)1111

※研修は主として中央病院で実施するが、一部東病院で行うことがある。

(看護師及び放射線技師については一部の研修を東病院で行う。)

### 5. 研修実施期間

研修実施期間は、別紙（1）「研修実施計画及び推薦締切期日」による。

### 6. 研修内容

職種別の研修課程、研修内容は別紙（2）「研修内容」によるが、詳細については受講者の構成等を考慮して実施施設において決定するものとする。

## 7. 各都道府県及び研修実施施設長の推薦

都道府県及び研修実施施設長は、受講希望者の受講者調書〔別紙様式〕を2部作成し、所属施設長の推薦理由書、履歴書及び医師の場合は希望研修課程を選んだ理由書（その他の職種については、希望研修内容を受講者調書の備考欄に記入すること。）を各2部（原本）添付のうえ、厚生労働省医政局総務課あて推薦すること。

受講者の推薦にあたっては、各都道府県におけるがん診療施設の現状及び将来計画等を勘案し、研修効果が十分に期待できるよう配慮すると共に受講対象者の要件を備えているかどうか審査を行うこと。

また、受講者の推薦の時期は、別紙（1）「研修実施計画及び推薦締切期日」による。

## 8. 受講者の選定及び通知

各都道府県及び研修実施施設長より推薦された者のうちから、厚生労働省医政局において決定し、都道府県又は研修実施施設長を通じて所属施設長及び受講者に通知する。

## 9. 経 費

受講料は無料とするが、受講地への旅費、滞在費等は受講者側の負担とする。

## 10. 宿泊施設

宿泊施設については、研修実施施設において斡旋しないので、受講者において選定すること。

## 11. その他

（携帯するもの）

【全職種共通】筆記用具、印鑑、保険証

【医師、看護師、診療放射線技師】白衣、フィルムバッジ

【臨床検査技師】12色鉛筆、白無地ノート

## 受 講 者 調 書

〔 医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、がん登録実務者 〕

(進達都道府県名： )

(研修実施施設名：国立がんセンター)

1	受 講 者 氏 名	( 男 ・ 女 )
2	生 年 月 日	昭 和 年 月 日 ( 満 歳 )
3	所 属 施 設	(1) 施 設 名
		(2) 所 在 地
		(3) 連 絡 先
4	従 事 職 務 内 容	現在の所属部署 従 事 職 名 具 体 的 な 職 務 内 容 (希望課程の経験及び関連機器の取扱経験等)
5	経 験 年 数 (うち研修希望課程)	臨 床 (従 事) 経 験 年 月 ( 年 月 )
6	卒 業	(1) 学 校 名
		(2) 年 月 日
7	免 許	(1) 番 号
		(2) 登 録 年 月 日
8	受 講 希 望	(1) 受 講 施 設
		(2) 研 修 課 程
		(3) 受 講 時 期
9	これまでの当該研修受講の有無	有 無 研 修 施 設 研 修 課 程
10	都道府県の推薦優先順位	
11	都道府県の今回までの推薦回数	
12	添 付 資 料	(1) 所属施設長の推薦理由書(施設長印のあるもの) (2) 履歴書(写真貼付のこと) (3) 医師の場合は、希望研修課程を選んだ理由書
13	備 考	

注(1)受講者調書及び添付資料は各2部(原本)提出のこと。

(2)該当する職種〔医師、看護師、…、がん登録実務者〕に○印を付すこと。

(3)「10、11」欄については都道府県が記入すること。

(4)「11 都道府県の今回までの推薦回数」欄については受講申請したが受講決定をみななかった場合、その申請回数等を記入すること。

(5)研修実施施設長推薦者については「10、11」欄は記入しないこと。

(6)「12 添付資料」についてはA4版とするが、様式は特に定めないので適宜作成すること。

なお、履歴書の記載内容として取得資格及び研修会等の受講歴も記入すること。

(7)医師以外の職種については希望する研修内容を「13 備考」欄に記入すること。

(8)国立がんセンターの受講希望者は履歴書にカラー写真を貼付すること。

また、履歴書の氏名欄にローマ字綴りも併記すること。(名札作成のため)

(例) 鈴木太郎 T. SUZUKI

研修実施計画及び推薦締切期日

職 種	期 間	18年 4	5	6	7	8	9	10	11	12	19年 1	2	3	備 考
医 師	3ヵ月					8月28日	11月24日				1月9日		3月29日	
看 護 師	3週間		5月29日	6月16日										
診療放射線技師	1ヵ月							10月2日	11月2日					
	2週間							10月2日	10月13日					
臨床検査技師	3ヵ月						8月28日		11月24日		1月9日		3月29日	
がん登録実務者	1週間					9月4日	8日				1月22日	26日		
厚生労働省への提出書類 受 付 締 切 日		第1回募集分 平成18年4月14日(金) 必着				第2回募集分 平成18年6月23日(金) 必着				第3回募集分 平成18年10月20日(金) 必着				

別紙(2)

研 修 内 容

I 医 師

実 施 施 設	期 間	実 施 時 期	研 修 人 員	備 考
国立がんセンター	(3ヵ月)	[コース] (第1回) 平成18年8月28日～11月24日 (第2回) 平成19年1月9日～3月29日	24人 24人	

注) それぞれの課程ごとに定員があるので参照すること。

研修課程	定員		受講対象者の要件	研修内容
	第1回	第2回		
国立がんセンター				
1 消化器がん画像診断過程	2	2	画像による消化器がん診断を希望する者	消化器がんをはじめとする諸種消化器がんのX線等診断、特に早期がん発見のための診断技術修得を目的とする。
2 消化器がん内視鏡課程	1	1	内視鏡による消化器がん診断治療を希望する者で経年数3年以上、35歳未満の者	消化器がんの内視鏡診断とその治療の修得、特に早期消化器がん発見のための診断技術修得を目的とする。
3 病理組織診断過程	2	2	人の腫瘍の病理診断の研修を希望し、病理診断を専門とする者	消化管（胃・大腸等）、肝、胆、膵、頭頸部、呼吸器、乳腺、泌尿生殖器、造血臓器及びその他の臓器に発生する腫瘍の肉眼並びに組織学的診断を修得し、早期発見、早期治療に有益な知見の会得を目的とする。
4 細胞診断過程	1	1	がん細胞を診断、治療に応用する者	各種臓器がんの細胞による診断に必要な知識と能力の修得を目的とする。



研修課程	定員		受講対象者の要件	研修内容
	第1回	第2回		
5 肺がん診断過程	2	2	胸部内科、胸部外科、気管食道科等で胸部診断を希望する者	診断 X線読影、肺、気管支動脈造影、気管支ファイバースコープ、擦過細胞診等の技術修得を目的とする。
6 子宮がん診断課程	1	1	婦人科医師	コルポスコピー、細胞診、組織診の三者を中心として研修を行い、子宮がん診断の向上を目的とする。
7 外科的療法過程 胃 外科コース 大腸外科コース 食道外科コース 肝臓外科コース 乳腺外科コース 胸部外科コース 泌尿器科コース 整形外科コース	1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1	総合病院の一般外科又は専門外科を3年以上修練した外科医師	研修生の希望分野に従い、専門医をカウンタートとして手術の見学、時として介助、討論会への参加及び病棟におけるベッサイドの実地研修を行う。
8 放射線療法課程	1	1	放射線治療に関与する医師	放射線治療の実習、特に高エネルギー加速器及び密封小線源による治療技術、加温療法

研修課程	定員		受講対象者の要件	研修内容
	第1回	第2回		
9 薬物療法（化学療法）過程	3	3	造血器腫瘍又は固形腫瘍の薬物療法骨髄移植等の臨床を行っている者	研修生の希望分野（造血器腫瘍、肺がん、消化器がん、乳がん、骨髄移植など）に従い、専門医をカウンタートンパートナーとして、薬物療法の実地研修を行う。
10 頭頸部がん課程	1	1	頭頸部がん診療に従事する者	臨床に即応した討論を行い、当該領域診療の基本と特異性を理解せしめ、診療に参加させて実技の向上を目的とする。
11 小児腫瘍（内科系）課程	1	1	小児がんの臨床を希望する者及び骨髄移植を行う希望のある者	小児がん一般の診療及び治療（特に骨髄移植、無菌室治療等）の技術を修得する。
12 皮膚科腫瘍過程  (12課程)	1	1	皮膚科医師（原則として35歳未満の者）	皮膚がんの診断、手術及び抗がん剤治療等による集学的治療を研修する。

## 研 修 内 容

### II 看護師

実 施 施 設	期 間	実 施 時 期	研 修 人 員	備 考
国立がんセンター	(3週間)	平成18年5月29日～6月16日	35人	

研 修 課 程	受講対象者の要件	研 修 内 容
<p>国立がんセンター</p>	<p>経験5年以上で指導的立場にあり、研修後関連業務に従事する者が望ましい。 年齢35歳以下とする。</p>	<p>講義 がん診療・研究の現状と将来、がんの疫学、がんの診断と治療、がん看護総論、手術後のリハビリテーション、化学療法を受ける患者の看護、放射線治療を受ける患者の看護、ターミナル・ケア、家族へのケア、疼痛の緩和、インフォームドコンセント</p> <p>実習 病棟における患者の看護、院内見学</p> <p>討議 事例を通してがん患者のQOLを考える。</p>

## 研 修 内 容

### Ⅲ 診療放射線技師

実 施 施 設	期 間	実 施 時 期	研 修 人 員	備 考
国立がんセンター	(1ヵ月)	平成18年10月2日～11月2日	9人	内訳 消化管 2人 C T 1人 MRI 1人 R I 2人 治療 3人
	(2週間)	平成18年10月2日～10月13日	15人	

研修課程	受講対象者の要件	研修内容
国立がんセンター 1 1ヵ月課程 (専門課程)	診療放射線技師として、3年以上の実務経験を有し、下記設備のうち1つを有している施設又は設置しようとする施設に勤務している者 (消化管検査装置) (CT検査装置) (MRI検査装置) (RI検査装置) (高エネルギー照射装置)	実習を中心とし、専門技術修得を図る。  消化器検査装置の操作方及び胃撮影技術 CT、MRI検査装置の操作方法及び撮影技術 動態検査、及びシンチカメラの操作 照射技術、測定技術、治療計画、装置の保守
2 2週間課程 (一般課程)	診療放射線技師として、2年以上の実務経験を有し、高エネルギー放射線治療、胃集検、CT、MRI、RI検査等の設備がある施設又はこれから設備しようとする施設に勤務している者	新しい知識及び基本的技術の修得を図る。 次の講義及び技術の修得を行う。 ・放射線管理、放射線治療計画 ・消化管撮影技術、CT撮影技術、放射線照射技術、放射線測定法 ・RI検査、MRI検査、放射線設備等

## 研 修 内 容

### IV 臨床検査技師

実 施 設	期 間	実 施 時 期	研 修 人 員	備 考
国立がんセンター (細胞診課程)	(3ヵ月)	(第1回) 平成18年8月28日～11月24日 (第2回) 平成19年1月9日～3月29日	3人 3人	

研 修 課 程	受講対象者の要件	研 修 内 容
国立がんセンター 細胞診課程（3ヵ月）	臨床検査技師免許取得後、3年以上臨床検査に従事し、なおかつ細胞診1年以上、又は病理及び血液検査2年以上の実務に従事している者	特に講義は行わない。実際の標本を見ながら教育する。 (1) 細胞診に必要な固定、染色等の技術を修得させる。 (2) 単位時間内に相当数の細胞診標本を検鏡、スクリーニング出来るようにする。



## 研 修 内 容

### V がん登録実務者

実施施設	期間	実施時期	研修人員	備考
国立がんセンター	(1週間)	(夏期) 平成18年9月4日～9月8日 (冬期) 平成19年1月22日～1月26日	20人 20人	

研修課程	受講対象者の要件	研修内容
がん登録実務者課程	次のいずれかの条件を満たし、がん登録の実務を担当する者、もしくはがん登録の管理者で実務内容を把握する必要がある者 1. がん登録または病歴管理の実務経験が1年以上の者 2. 看護師、保健師の資格を持つ者 3. その他所属長が推薦する者	講義内容 がん登録で必要とされる基礎知識と技術の習得を目標とする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん登録に必要ながんの基礎知識</li> <li>・がん登録概論</li> <li>・がん登録の標準登録項目</li> <li>・国際疾病分類腫瘍学第3版</li> <li>・病期分類について：臨床進行度分類、UICC、TNM分類、取扱い規約について（主に主要5部位：胃癌、大腸癌、肝臓癌、肺癌、乳癌）</li> <li>・コーディング演習（局在コード、形態コード、病期、その他の登録項目）</li> </ul> ・がん登録における情報管理・利用について

